

令和4年4月8日(金) No.470



生徒一人ひとりを大切にし、グリットを高め 絆を深める里中学校

里中だより

川口市立里中学校

川口市里621番地

TEL 048-282-5708

さわやか相談室 284-1010

1年209名 2年201名 3年198名

<http://www.sato-chu.com/>

令和4年度のスタートにあたって

校長 荻上 晃司

3月24日に学校・家庭・地域が連携した環境美化活動を実施することができました。本活動に携わってくださったすべての皆様、有志の生徒には感謝の気持ちでいっぱいです。丹精込めて植えられた花々は鮮やかな色を拓けています。そのような中、新入生209名を迎えて、令和4年度がスタートしました。

令和4年度も教職員が一丸となって、下記の学校教育目標、校訓、目指す学校像、学校経営方針のもとで、教育活動を推進してまいります。保護者・地域の皆様には、引き続き、本校の教育活動に対してご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<学校教育目標> 【真剣に学ぶ生徒】 【人間性豊かな生徒】 【心と体を鍛える生徒】

<校訓(目指す生徒像)> 【自律】 【協調】

- ・自律…夢や志を持ち、その実現に向け主体的に行動し、自らの将来を切り拓く生徒
- ・協調…様々な課題に他者と協力し合い、解決していく生徒

<目指す学校像> 【生徒一人ひとりを大切にし、グリットを高め 絆を深める里中学校】

- ・グリット…知(学習)・徳(学校行事)・体(部活動)のやり抜く力
- ・絆…人とのつながり(学校・家庭・地域、生徒同士、生徒と教職員、教職員同士)

<学校経営方針> 【生徒第一主義】

- 1 確かな学力の育成
- 2 豊かな心を育てる指導の充実
- 3 主体的に健康保持増進、体力向上を図る指導の充実
- 4 地域とともにある学校づくりの推進
- 5 安心・安全な学校づくりの推進
- 6 ノーマライゼーションの理念に基づく特別支援教育の視点を取り入れた指導の充実

私の教育信条は、<目指す学校像>で謳っている、グリット(やり抜く力)の育成です。4月8日の入学式では、グリットについて、どんな社会や時代においても必要な力であると伝えました。また、始業式では、グリットについて、次のような話をしました。(校長式辞一部抜粋)

平成10年の夏の高校野球青森県大会でA高校は、甲子園に出場したことがあるB高校と対戦することになりました。5回を終わって93対0。A高校の監督は、選手に次の3つの中から1つを選ぶように提案しました。「①棄権する ②続ける ③監督に任せる」

監督は棄権するつもりでしたが、3年生のひとりが、「やめてもいいけど、これまで応援してくれる人がいたし、続けたい方がいいんじゃないか」と言ったので、全員が続ける気持ちに傾いていったそうです。結局、A高校は、122対0で7回コールド負けでした。

しかし、当時6人いた1年生で野球部をやめた生徒は一人もいませんでした。その中のある生徒は、3年生になって国立秋田大学資源工学部に進学したいと考えました。A高校から大学に進学する生徒は少なく、国立大学理系は開校以来一人もいませんでした。この生徒は、最後の大会前は部活の後学校に残って、引退後の夏休みも学校に行き、受験勉強を続けました。2学期に入ってからは、放課後一人で教室に残って勉強し、翌日朝早く学校に行き勉強するという毎日を過ごしました。その後、秋田大学資源工学部に合格しました。彼は「グリット」を持っています。

始業式や入学式に立派な態度で臨む生徒たちの姿から、新たな目標や決意を持って新年度を迎えたことが伝わってきました。令和4年度もグリットを発揮する姿を楽しみにしています。